

Straw Face

SNS活用の企業間情報共有管理システム

メールが主役の時代は終焉

日本の企業間情報は、いまだに **9割のデータがメールを介して**行われています。これは、企業間データの共有・連携がまったく進んでいない現状を反映しています。では、そのメールでの情報交換にはどのような問題点があるのでしょうか。

- ① ウィルス感染のリスク
- ② 二重データのリスク
- ③ 既読確認が不可能
- ④ 送受信可能容量が小さい
- ⑤ 情報セキュリティが脆弱
- ⑥ 履歴管理が出来ない



最近、情報漏えい等のセキュリティ問題が叫ばれている中、多くの企業がメール依存から抜け出せない現状に悩んでいます。ただ、もしかすると、問題そのものが認識されていない可能性もあります。

ストローフェイスとは何か

SNS + クラウド = ストローフェイス

このメールによる情報交換の問題を解決するために開発されたのが「ストローフェイス」という仕組みです。

フェイスブックが日本に上陸する1年前に開発された、**SNS型クラウド**です。

特に印刷データは、何度もネット上をドキュメントが行き来するため、時系列管理が極めて重要な意味を持ちます。

印刷データの管理には、今後ストローフェイスのような仕組みが必須となります。

